

2023年7月7日

各 位

株 式 会 社 サ ー ラ コ ー ポ レ ー シ ョ ン
(コード番号 2734 東証プライム・名証プレミア)

本日、当社は下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

プレスリリース資料（別紙）

～地域における脱炭素社会の実現を目指して～
再生可能エネルギーの普及促進に向けた「系統用蓄電池」事業への参入について

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サーラコーポレーション 総務部総務グループ TEL：0532-51-1182

2023年7月7日

株式会社サラコーポレーション

～地域における脱炭素社会の実現を目指して～

再生可能エネルギーの普及促進に向けた「系統用蓄電池」事業への参入について

当社子会社でエネルギー事業を行うサラエナジー株式会社（本社：愛知県豊橋市、代表取締役社長：鈴木 敬太郎、以下「同社」）は、2026年春の運転開始を目指し、静岡県内では初となる系統用蓄電池^{※1}を静岡県浜松市内に導入^{※2}いたします。

当社グループでは、地域における脱炭素社会の実現を重要な課題と捉え、お客さま先を含むサプライチェーン全体での2050年のカーボンニュートラル実現を目指しています。当社の第5次中期経営計画においては、2025年の目標値として「自社の事業活動から発生するCO₂削減量△5,000t、お客さま先におけるCO₂削減貢献量△55,000t（いずれも2021年比）」を目標値に掲げ、低炭素化さらには脱炭素化に向けた取り組みを積極的に進めています。

今回の取り組みは、同社の電力事業の柱のひとつとして実施するものです。近年、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用が拡大する中、気象条件等により大きく変動する発電量の調整力として蓄電システムの重要性が高まっています。そうした背景を踏まえ、地域の再生可能エネルギーの導入促進に貢献するとともに、設置場所である浜松市が掲げる「太陽光発電導入量日本一」のサポートとなることを目指し、再生可能エネルギーの弱点を補い、地域全体としての電力系統の効率化・安定化に貢献できる系統用蓄電池の導入を決定いたしました。

同社はこれまでも、地域のカーボンニュートラルの実現に向けて「豊橋市が有する地区市民館など15施設に太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、運用・保守・管理を実施するPPA^{※3}サービスの提供」、「国内カーディーラー初となる電気・ガスからのCO₂排出量実質ゼロ店舗（アウディ浜松）の実現」など、再生可能エネルギーの導入を推進してまいりました。また、一般家庭向けのサービスとして、ご家庭のCO₂排出量や水道光熱費を“見える化”し、最適なCO₂や水道光熱費の削減対策を提案する診断サービス「エコスマ診断」^{※4}も開始しています。

今後も当社グループは、地域のお客さまの低炭素化、脱炭素化の取り組みを積極的にサポートするとともに、地域のカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 系統用蓄電池：蓄電池を電力系統に直接接続して充放電を行うもの。太陽光発電等の再生可能エネルギーが余った時には充電し、夜間など電力不足時に放電することで、再生可能エネルギーの出力変動に対する需給を調整し、電力の安定供給への貢献が可能です
- ※2 資源エネルギー庁の「令和4年度補正再生可能エネルギー導入拡大に資する分散型エネルギーリソース導入支援事業費補助金（系統用蓄電システム・水電解装置導入支援事業）」における補助金を活用して導入します
- ※3 PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）：設備設置事業者（PPA事業者）が施設に太陽光発電設備を設置し、施設側は設備で発電した電気を購入する契約のこと。第三者所有モデルや屋根貸し自家消費型モデルとも呼ばれ、施設所有者は設備を所有しないため、初期費用の負担や設備の維持管理をすることなく、再生可能エネルギーの電気を使用することが可能です
- ※4 エコスマ診断：お客さま宅の電気やガスなどの光熱費に加え、住まいや暮らし方などについて当社の担当者が問診した結果を、独自開発した診断ツール「エコスマ診断」に入力することで、お客さま宅のCO₂排出量や水道光熱費を“見える化”するとともに、お客さま毎の最適なCO₂削減対策や水道光熱費削減対策を提案するサービスです（6月30日サラエナジーよりお知らせ済）

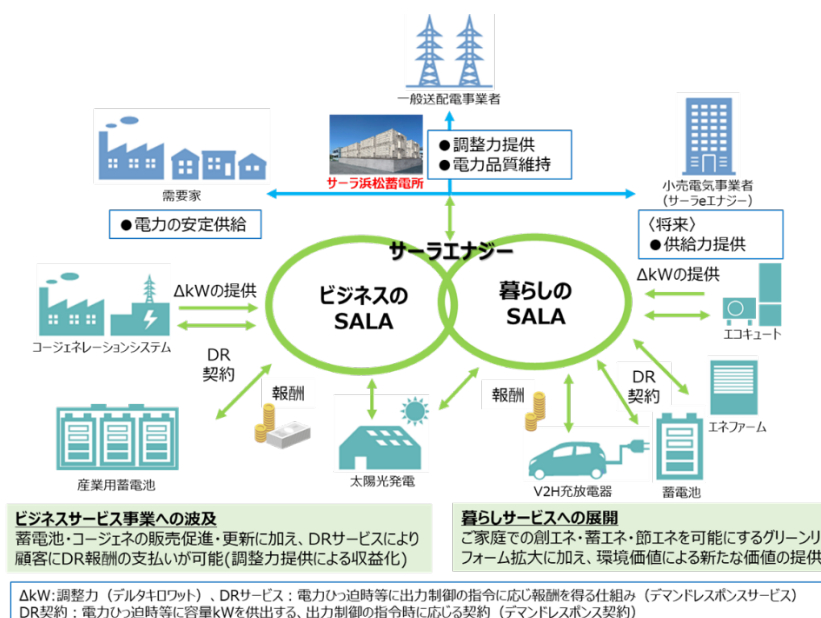
系統用蓄電池の概要

名 称	サーラ浜松蓄電所 (SALA Hamamatsu Storage Station)
設 置 場 所	静岡県浜松市東区西塚町 200 番地 (サーラエナジー浜松供給センター内)
蓄 電 池 種 別	日本ガイシ株式会社 NAS®電池
出 力	11,400kW
容 量	69,600kWh (直流換算)
運 転 開 始	2026 年春頃 (予定) (2023 年 7 月 6 日着工)

「サーラ浜松蓄電所」系統用蓄電池(コンテナ型NAS®電池)設置イメージ



サーラエナジーの取り組みイメージ



----- 本件に関するお問合せ先 -----

株式会社サーラコーポレーション 総務部総務グループ TEL : 0532-51-1182

以上

【参考資料】

～地域における脱炭素社会の実現を目指して～ **再生可能エネルギーの普及促進に向けた 「系統用蓄電池」事業への参入について**



(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 「系統用蓄電池」事業への参入の目的～再生可能エネルギーの効率利用～

近年、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用が拡大する中、一部の電力事業者では太陽光・風力発電の出力制限を行うなど、気象条件等により大きく変動する発電量の調整力として蓄電システムの重要性が高まっています。そうした背景を踏まえ、地域の再生可能エネルギーの導入促進と、再生可能エネルギーの弱点を補い、地域全体としての電力系統の効率化・安定化に貢献するために、今般の「系統用蓄電池」事業への参入を決定しました。設置場所である浜松市が掲げる「太陽光発電導入量日本一」のサポートとなることを目指します。



名称	サーラ浜松蓄電所 (SALA Hamamatsu Storage Station)
設置場所	静岡県浜松市東区西塚町200番地 (サーラエナジー(株)浜松供給センター内)
蓄電池種別	日本ガイシ株式会社NAS®電池
出力	11,400kW
容量	69,600kWh(直流換算)
運転開始	2026年春頃予定 (2023年7月6日着工)

※系統用蓄電池：蓄電池を電力系統に直接接続して充放電を行うもの。太陽光発電等の再生可能エネルギーが余った時には充電し、夜間などの電力不足時に放電することで、再生可能エネルギーの出力変動に対する需給を調整し、電力の安定供給への貢献が可能。

「サーラ浜松蓄電所」系統用蓄電池(コンテナ型NAS®電池)設置イメージ図

【参考】第5次中期経営計画における成長投資目標

■ 成長投資目標

第5次中期経営計画（2023年11月期～25年11月期）では通常の設備投資年間約50億円に加えて、2030年ビジョン実現に向け、3年間で新たな成長に向けた将来投資を積極的に行う。

成長投資

合計 **150億円**

新分野への投資（蓄電所・蓄電池・PPA等の電力事業、新しい形態の拠点など）	70億円
DX投資（業務プロセス改革、お客さまサービス向上）	30億円
人材投資（社員が成長・活躍できる環境づくり）	30億円
M&A投資（エネルギー、エンジニアリング、暮らし・住まい）	20億円

【電力事業について】

電力小売事業

- 2015年1月
サーラeナジー(株)設立
- お客さま数 約70,000件
(2023年5月末現在)

発電事業

- 2016年6月
サーラeパワー(株)設立
- 2019年7月 稼働開始
- 発電能力：22,100KW
一般家庭の約4万世帯分

蓄電事業

今回の取組み

【参考】カーボンニュートラル推進に向けた達成目標

■ サラグループのカーボンニュートラルビジョン

地域における脱炭素社会の実現を事業の成長機会と捉え、お客さま先を含むサプライチェーン全体での2050年カーボンニュートラル実現を目指す。2030年時点では、自社の事業活動から発生するCO₂削減量を2021年比で50%削減する。

今回の系統用
蓄電池の取組み

エネルギー

ガスの低炭素化の推進 (天然ガスシフト・LPガスシフト)
カーボンニュートラルガス (オフセット)

電力の販売拡大、カーボンニュートラル電気

エネルギーマネジメント (VPP・DR)

再エネ電源 (太陽光・バイオマス)

行政連携

市民電力・マイクログリッドの展開
地域行政と連携した取組み

EVシェアリング

スマートシティの展開

地域産業・地域企業との連携

(農業) ソラーシェアリング

(産業) 省エネ機器・自動化の提案
CO₂回収利用の提案

(畜産) 畜産・動物病院への太陽光・
カーボンニュートラル電気提案

技術革新・環境活動

CCS・CCUS (CO₂吸収貯蔵利用)

水素の製造方法や利活用の研究

植林活動によるCO₂削減

ソリューション

暮らしのサラー

高効率ガス機器の提案
(エコジョーズ、エネファーム等)

お客さまのカーボンニュートラル提案
(太陽光、燃料電池、蓄電池、V2H充電器、ZEH)

ビジネスのサラー

高効率・省エネガス空調機器提案

お客さまのカーボンニュートラル提案
(太陽光、燃料電池、蓄電池、ZEB)

ファシリティサービス、省エネ機器提案、
エネルギー診断、エネルギーロス削減

事業活動におけるカーボンニュートラル

事業活動で使用するエネルギーのカーボン
ニュートラル、太陽光発電等の設置

省エネ機器 (LED照明等) 導入の推進

社用車のEV化の推進

■ 2025年を最終年度とする第5次中期経営計画では カーボンニュートラルを新たな事業成長の重点戦略に

- カーライフサポートセグメントにおける店舗のカーボンニュートラル化
- モビリティと住まいのカーボンニュートラル起点によるサービスの融合
- 動物病院などグループ取引先へのカーボンニュートラル提案など

【2025年の達成目標】

自社の事業活動から発生するCO₂削減量

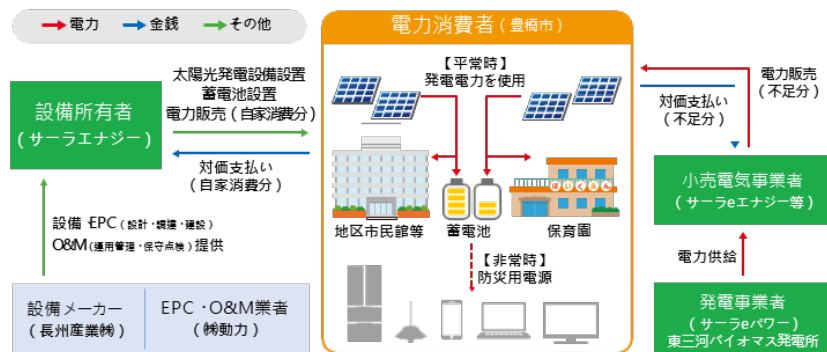
目標値 △5,000 t (2021年比)

お客さま先におけるCO₂削減貢献量

目標値 △55,000 t (2021年比)

【参考】カーボンニュートラル推進に向けた最近の取り組み

- 豊橋市が有する地区市民館など15施設に太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、運用・保守・管理を実施するPPAサービスの契約・提供（2022年3月）



- 国内カーディーラー初となる電気・ガスからのCO₂排出量実質ゼロ店舗 (アウディ浜松) の実現 (2023年1月)



※加えて、フォルクスワーゲン浜松・浜松西・浜松整備工場についても7月中にCO₂排出量実質ゼロ店舗に移行予定

- 省エネ・環境性能にすぐれた LCCM 住宅/ZEH 基準に標準対応「SINKA (シンカ)」シリーズを販売開始 (2023年6月)



- サーラの「エコスマ診断」サービス開始 (2023年7月)

お客さま宅のCO₂排出量や水道光熱費を“見える化”するとともに、お客さまごとの最適なCO₂削減対策や水道光熱費削減対策を提案するサービス。

サーラの「エコスマ診断」

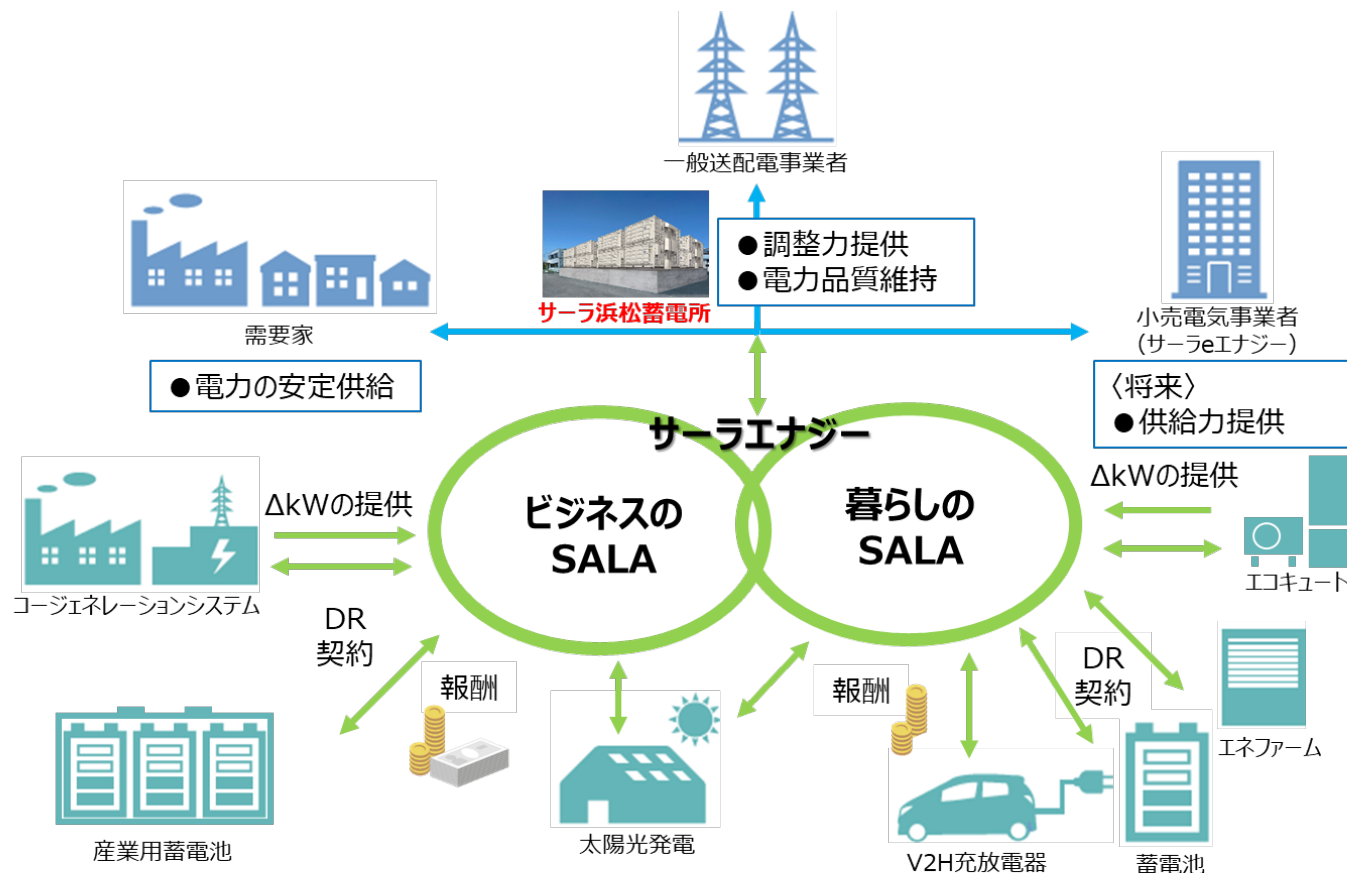


「エコスマ診断」は、SALAオリジナルの省エネ診断システムです。

対面版

WEB版

【参考】今後のサーラエナジーの取組みイメージ



ビジネスサービス事業への波及
蓄電池・コージェネの販売促進・更新に加え、DRサービスにより顧客にDR報酬の支払いが可能(調整力提供による収益化)

暮らしサービスへの展開
ご家庭での創エネ・蓄エネ・節エネを可能にするグリーンリフォーム拡大に加え、環境価値による新たな価値の提供

ΔkW:調整力 (デルタキロワット)、DRサービス:電力ひっ迫時等に出力制御の指令に応じ報酬を得る仕組み (デマンドレスポンスサービス)
DR契約:電力ひっ迫時等に容量kWを供出する、出力制御の指令時に応じる契約 (デマンドレスポンス契約)